

平成25年行政事業レビューシート					(農林水産省)		
事業名	きのこ等生産資材導入円滑化事業		担当部局	林野庁 林政部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成27年度		担当課室	経営課特用林産対策室	特用林産対策室長 森谷 克彦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	⑬林業の持続的かつ健全な発展			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	森林・林業基本法 第15条(山村地域における定住の 促進)、第20条(人材の育成及び確保)、第25条(林産 物の利用の促進)		関係する計画、 通知等	森林・林業基本計画(平成23年7月26日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔 に。3行程度以内)	安全なきのこ等の生産に必要な生産資材の導入を支援することにより、特用林産物生産の経営基盤を強化し、特用林産物の生産継続を図る。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	きのこ等の生産資材にかかる放射性物質による被災前の導入費と被災後の導入費の差額を支援。 補助率:1/2						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の状 況	当初予算	—	—	—	10	5
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
		計	—	—	—	10	5
	執行額	—	—	—			
執行率(%)	—	—	—				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	国産きのこ類の生産量 (H27:472千トン) 施業集約化等の推進		成果実績 千トン	—	—	—	472
			達成度 %	—	—	—	
			成果実績 %	—	—	—	46
			達成度 %	—	—	—	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	生産資材導入の差額支援を行った数量		活動実績 (当初見込 み)	万本	(—)	(—)	(—)
単位当たり コスト	0.2(千円/本)		算出根拠	20,000千円/10万本			
平成 25 - 26 年度 予 算 内 訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	生産資材の差額支援	10	5				
	計	10	5				

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国 必 要 投 入 の 性 能	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○ ○ ○	生産資材の導入を支援することにより、きのこの生産継続が図られ、山村地域の活性化や山村地域資源の活用に寄与するため、優先度は高く、国において実施すべき事業である。	
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 受益者との負担関係は妥当であるか。 単位当たりコストの水準は妥当か。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	— — — — — —	単位あたりのコストの削減については、過去2年間の比較ができない。	
事業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低成本で実施できているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○ — —		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—		
点検 結果	①事業の有効性、効率性、必然性について →きのこ生産に必要な生産資材の導入を支援することにより、きのこの生産継続が図られ、山村地域の活性化や山村地域資源の活用に寄与することから重要である。 ②適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 →特用林産の振興に向けて、きのこ類の年間生産量を目標にしており、着実に成果を上げている。 ③今後の課題、改善の方向について →平成25年度から事業を実施。			

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

現状 通り	本事業は特に問題はないものの、今後とも適切な事業執行に努め、事業が適正なコスト意識のもとで行われているか評価を行うこと。
----------	--

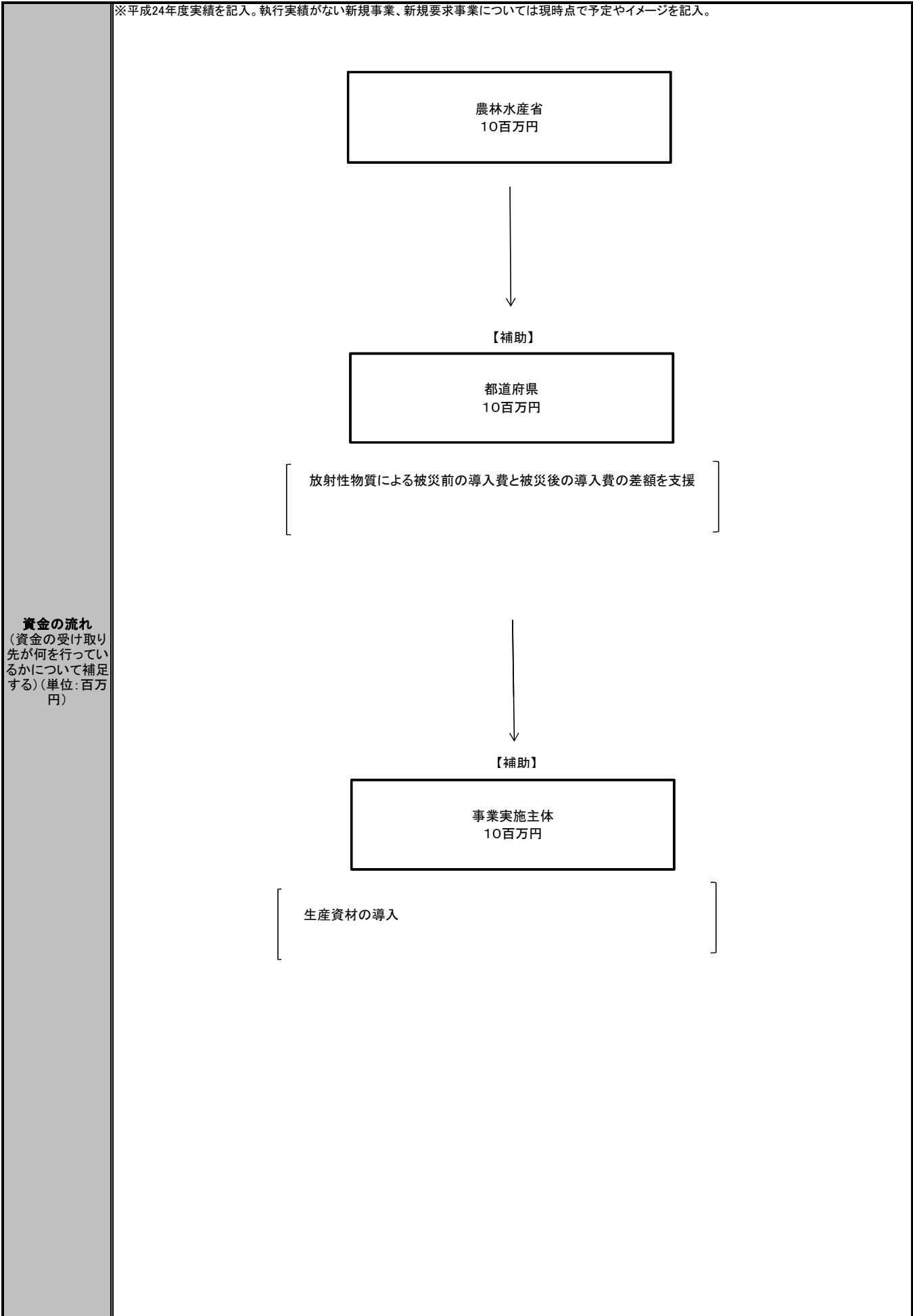
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状 通り	今後とも適正なコスト意識のもと適切な執行管理に努める。
----------	-----------------------------

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	a					
	計		0	計		0
B.			F.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
C.			G.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
D.			H.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					